

## 基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	38	38	7	0

### 施策の方向 1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 28 企業等への広報・啓発</b>				
福岡市こども・子育て審議会	福岡市子ども総合計画の進捗状況等について協議する。	平成25年9月に福岡市児童福祉審議会と福岡市次世代支援推進協議会を統合再編し、設置した。 新・福岡市子ども総合計画の進捗状況の報告、第4次福岡市子ども総合計画素案の諮問等を行った。 (総会2回、専門委員会1回開催)	B	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 2,199千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 (631千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 2,199千円	24年度予算額 (631千円)			
市民や企業と共働した子育て支援	平成26年度末までに、賛同企業・団体数を1500にする。	子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い〜な」ふくおか・子ども週間♡”賛同を呼びかけた。 ・平成26年3月末現在賛同数 928企業・団体 (平成25年3月末賛同数 900企業・団体) ・働く人の認知度を向上するため、週間に合わせ、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送 ・“「い〜な」ふくおか・子ども週間”ホームページに賛同企業・団体名及び取り組みを掲載するとともに、呼びかけ強化月間(8~10月)を設定し、市役所全庁に呼びかけ ・ノー残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月2日) ・経済誌掲載	B	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 4,625千円</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 (4,432千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 4,625千円	24年度予算額 (4,432千円)			
「い〜な」ふくおか応援団	関係局との連携を図り、庁内のワーク・ライフ・バランスの推進を図る。	○「い〜な」ふくおか応援団会議の開催 ○社会貢献優良企業優遇制度 (次世代育成・男女共同参画支援事業分) ○他の制度・事業との連携 ・「エコ&い〜な」早帰りチャレンジデー	B	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額 -</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額 -</td> </tr> </table>		
予 算 額				
25年度予算額 -	24年度予算額 -			

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
福岡市次世代育成支援フォーラム	セミナーの実施により、企業のワーク・ライフ・バランス推進を図る。	<p>○ワーク・ライフ・バランスセミナー 「次世代へ、より良い社会を残すために...」 日時:平成26年1月22日(水) 場所:アミカス ホール 主催:福岡市 参加者数:105名(70名) 〔講演〕 認定NPO法人フローレンス 代表理事 駒崎 弘樹 氏</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>610千円</td> <td>〈946千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	610千円	〈946千円〉	A	市) 男女共同参画課  ※25年度は、こ) 総務企画課
25年度予算額	24年度予算額							
610千円	〈946千円〉							
「い〜な」ふくおかワーク・ライフ・バランスネットワーク形成事業	産・学・官でワーク・ライフ・バランス推進のためのネットワーク形成を図り、仕事と生活の調和がとれたまちを目指して取り組む。	<p>市内企業の人事労務担当者を対象にワーク・ライフ・バランスモデル企業の創出やネットワーク形成に向けて産学官による研究会を開催した。</p> <p>1 参加企業 7社 &lt;7社&gt; 2 活動実績 (1) ワーキング 5回 経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの理解、各社の課題整理から各社のアクションプランづくり (2) ワールドカフェ 学生を対象にワールドカフェ「社会人になる前に考えてみませんか...仕事と生活の両立」を実施 (3) 調査・研究 ①社員の意識調査及び定点観測の検討及び実施 ②ワーク・ライフ・バランス推進事業の検討及び実施 ③先進的ダイバーシティ経営企業の調査及び報告</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>7,990千円</td> <td>〈7,950千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	7,990千円	〈7,950千円〉	C	市) 男女共同参画課  ※25年度は、こ) 総務企画課
25年度予算額	24年度予算額							
7,990千円	〈7,950千円〉							
企業のワーク・ライフ・バランス支援事業	ワーク・ライフ・バランスを推進するため、企業への意識啓発を図る。	<p>○出前型セミナー「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 企業のワーク・ライフ・バランスの普及・促進に向けて、個々の企業のニーズに柔軟に対応できる出前形式のセミナーを実施。 内容 3つのコースから選択 ①初歩から学べる入門編(一般従業員向け) ②経営戦略につなげる基礎編(経営者・管理職向け) ③ワークショップ形式の実践編(人事・労務担当者向け) 対象 市内企業 講師 NPO法人ジェンダー研究所 受講企業数 32社&lt;17社&gt;</p> <p>○講演会 テーマ 「次世代へ、より良い社会を残すために...」 講師 認定NPOフローレンス 代表理事 駒崎 弘樹氏 日時 平成26年1月22日 場所 アミカス ホール 参加者数 105名</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>678千円</td> <td>〈768千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	678千円	〈768千円〉	B	市) 男女共同参画課
25年度予算額	24年度予算額							
678千円	〈768千円〉							
社会貢献優良企業優遇制度(次世代育成・男女共同参画支援事業分)		<p>社会貢献度の高い地場企業に対して優先指名等の優遇措置を行う社会貢献優良企業優遇制度の対象事業に「次世代育成・男女共同参画支援事業」を設けている。</p> <p>認定企業:73社&lt;57社&gt; 認定期間:H25.8.1~H28.7.31</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-	A	市) 男女共同参画課
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
<p>具体的施策 29 育児・介護休業制度に関する広報と情報提供</p>								
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	<p>(具体的施策 19再掲) 労働関係法令などを掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体・企業主等に配布することにより勤労者の生活及び福祉の向上を図る。 啓発誌「働くあなたのガイドブック」改訂版の作成及び配布 ページ数:52ページ 配布先:国・県等の関係機関、情報プラザ、区役所、市内高校等 ※平成25年度改訂版 10,000部作成</p>	A	経) 就労支援課				

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<b>具体的施策 30 仕事と生活の調和のとれた生き方の普及</b>								
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等  ☆アミカス講座		○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ48人【男:34人,女14人】 〈延べ50人【男:35人,女15人】〉 ◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:天野周一(全国亭主関白協会会長)ほか 参加者数:延べ247人〈延べ81人〉  予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-	A	市) 事業推進課
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
広報紙の発行	広報紙に関しては、紙媒体から電子媒体へ移行していくことを考慮に入れ発行する。	(具体的施策 8再掲) 男女共同参画推進センターの事業等を紹介するとともに、女性問題解決のための情報提供や啓発を行った。 ○広報紙「アミカスタイムズ」の発行 発行回数:年3回 発行部数:7,000部/回 配布先:全国の男女共同参画行政機関・施設、マスコミ、近郊大学・短大、市内の企業・病院、市情報プラザ、市民センター等 ○「アミカスイベントナビ」の発行 発行回数:年2回 発行部数:12,000部/回 ○情報紙「アミカスカワラ版」の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:2,800部/回〈同左〉 ○アミカス図書室情報案内の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:1,000部/回〈同左〉	A	市) 事業推進課				
<b>具体的施策 31 市役所における育児・介護休業中の男女への支援</b>								
育児休業中の職員に対する研修	育児休業中の職員に対する研修を行うことにより、円滑な職場復帰とキャリア形成を支援する。	「リラックス研修」(育児休業者の職場復帰前研修)を実施。 ○集合研修 (経験者による体験談、育休中の職員同士の意見交換等) 【1回目】約2時間半(約2時間半) 参加者:育休中の職員等 13名(11名) 【2回目】約2時間半(約2時間半) 参加者:育休中の職員等 22名(15名) 【3回目】約2時間半(約2時間半) 参加者:育休中の職員等 26名(22名) ○OA操作練習(庶務管理等システム等の操作練習) 9回実施,参加者:計13名(6回実施,参加者計20名) ○eラーニングによるキャリアデザイン研修 受講者:4名(4名)  予 算 額 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>138千円</td> <td>〈76千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	138千円	〈76千円〉	A	総) 人材育成課
25年度予算額	24年度予算額							
138千円	〈76千円〉							
福岡市特定事業主行動計画に基づく仕事と家庭の両立支援策の推進	①子どもが生まれた男性職員のうち、育児休業を取得した市職員の割合【H26】5%以上 ②子どもが生まれた男性職員のうち、出産・育児支援休暇を取得した市職員の割合【H26】90%以上 ③市職員の年次有給休暇の年間平均取得日数【H26】16日以上	・年次有給休暇等の取得促進に向けた啓発を行うとともに、年次有給休暇取得率が低い(5日以下)職場に対するヒアリングを実施。 2件(4件) ・「時間外勤務の縮減に関する指針」(平成25年4月)に基づき縮減に向けた取り組みを実施。 本市職員一人あたりの時間外勤務時間数:161時間(H16年度)→132時間(H24年度) ・行動計画における目標数値の実績(H24年度) ①2.1%〈3.2%〉 ②95.2%〈96.1%〉 ③14.9日〈15.2日〉 ※〈 〉内は23年度実績	B	総) 労務課				
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							

**施策の方向 2 男性の家庭・地域への参画促進**

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<b>具体的施策 32 男性への意識啓発</b>								
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">☆アミカス講座</div>		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ48人【男:34人,女14人】 〈延べ50人【男:35人,女15人】〉 ◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:天野周一(全国亭主関白協会会長)ほか 参加者数:延べ247人〈延べ81人〉	A	市) 事業推進課				
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	(具体的施策 9再掲) 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。  補助金交付団体数 148団体(148団体) (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付)	A	市) コミュニティ推進課				
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 11館〈12館〉 回数 30回〈42回〉 参加人数 663人〈831人〉  予 算 額(予算額は全主催事業の予算) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">25年度予算額</td> <td style="text-align: center;">24年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">55,139千円</td> <td style="text-align: center;">〈55,667千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	55,139千円	〈55,667千円〉	C	市) 公民館調整課
25年度予算額	24年度予算額							
55,139千円	〈55,667千円〉							

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時) ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:310人(24年度:240人) 講演:「自分を育てる時間の使い方」 講師:村上 祥子 氏(料理研究家) ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:370人(24年度:379人) テーマ「超高齢社会の絆を考える」 (3回シリーズ 共催:東市民センター) ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:77名(24年度:65人) 「男女共同参画ってなあに」(講義) 講師:アマカス副館長 安部 修 氏 ⑤日本女性会議2013あなん(4名参加)(24年度:4人) ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(参加者63名) テーマ:男女共同参画社会をめざして 講 師:寺坂カタエ氏 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加 ④内閣府男女共同参画フォーラムin福岡市への参加 (各校区複数名) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第2ブロック」(参加者41名) 「第5ブロック」(参加者48名) ⑥視察研修(参加者数:37名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 視察先:田川郡川崎町 講 師:ラピュタファーム代表 杉本利雄氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(9名)	B	博) 地域振興課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計3人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画委員研修の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:安部事業推進課長 / 参加者:80名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p> <p>※25年度は、地域振興・支援課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成25年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、9月、1月) 男女共同参画についての講演会を実施 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:43名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:94名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催</p> <p>1)男女共同参画啓発ビデオ上映 「女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ —夫婦のモラル・ハラスメント— 家庭に潜む、女性への人権侵害を許さない」</p> <p>2)講演 「男と女のいい関係～DVってなあに？～」 講師:原 健一氏(佐賀県DV総合対策センター所長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の作成 (発行は26年度)【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2013あなん」への参加 ・「男女共同参画フォーラム」「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画を地域ですすめるには!？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:79名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 東日本大震災を今一度、女性の視点で捉え、この福岡で暮らす私たちが今後その教訓をどう生かしていくか学んだ。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2013あなん」参加報告 II部 講演「震災後の女性と子どもたち - 避難所生活・DV・そして今 -」 ・講師:八幡 悦子氏(NPO法人 ハーティ仙台・助産師)</p> <p>③「日本女性会議2013あなん」への派遣 3名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつなげる活動の支援。  男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①早良公民館 91名(68名) 「一人ひとりがいきいきと輝く地域社会に」 福永 宅司氏(子どもの学び館代表取締役) ②田隈公民館 62名(55名) 「輝き続けて90年 寺坂カタエの一代記」 寺坂 カタエ氏 ③原西公民館 65名(66名) 「独身男性育児情報誌編集長からパパになって～社長としてパパとして思うこと」 森 光太郎氏(リトル・ママ代表取締役社長) ④室見公民館 71名(76名) 「「婚学」で男女共同参画社会を作る」 佐藤 剛史氏(九州大学大学院農学研究院助教) 2. 日本女性会議2013あなんへの参加(委員5名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①アミカス記念祭2013参加 4名(2名) 講演会「型にはまらない生き方」講師 養老 孟司氏 ②あすばる男女共同参画フォーラム2013 1名(7名) 基調講演「誰もが輝く社会へ～女性活躍に向けた課題と期待」等 ③研修会「男女共同参画ってなあに？」 54名 安部 修氏(アミカス副館長) 5. 地域リーダー育成研修会「早良区男女共同参画フォーラム」 第1部:基調講演「男女共同参画5W1H」 講師 中嶋 玲子氏(前あすばる館長) 第2部:パネルディスカッション「地域でやってみようよ! 共同参画」 6. 「早良区のつどい」開催 368名 第1部:早良区男女共同参画協議会事業報告 協議会委員による人権劇「今やらなきゃ!!!」 第2部:講演会「自分を生きるということ」 講師 吉永 みち子氏(ノンフィクション作家)</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。会議やフェスティバルの開催、広報紙発行を実施した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画表彰等を実施した。  1, 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2013 「ともにつくろう いきいきとしたまち」 230名(300名)  2, 日本女性会議 日本女性会議2013あなん参加 1名(4名)  3, 委員交流・意見交換会 ①6月委員交流会・意見交換会 40名(41名) 実行委員・年間テーマ決定 ②9月委員交流会・意見交換会 31名(32名) 「地域課題の解決に向けた実践」 石田 喜久美 委員(壱岐校区) ③1月委員交流会・意見交換会 26名(33名) 「地域の男女共同参画意識を高めるためには」 岩永 真一 氏(福岡テンジン大学学長) ※地域リーダー育成研修会として開催 ④3月委員交流会・意見交換会 29名(30名) 「私たちが今“いきいき”していますか」  4, 全体会 ①40名(6月委員交流会終了後、同日開催) ②29名(3月委員交流会終了後、同日開催)  5, 広報紙「なぎさ」 45号・46号(各号6500部)発行(43・44号は6400部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。  6, 男女共同参画表彰 受賞者:1団体(受賞者:5名, 3団体)</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>